

平成29年度（第2回）
福岡市総合図書館運営審議会

日時：平成30年3月27日（火）

午前10時00分～11時50分

場所：福岡市総合図書館 第2会議室

〔次第〕

1 開会

館長挨拶

2 議事

議題 平成30年度事業計画について

3 報告事項

報告（1） 平成30年度予算及び機構について

報告（2） 早良地域交流センター（仮称）整備事業について

報告（3） 市政アンケート調査の結果報告

4 閉会

平成29年度 第2回 福岡市総合図書館運営審議会 座席表

高橋会長 梶山副会長

渡邊由紀子委員		白根恵子委員	傍聴席
増本桂子委員		脇川郁也委員	傍聴席
梶田由美子委員		黒岩俊哉委員	
木村由美委員		市澤安雄委員	傍聴席
香川純子委員		柴田富之委員	

--	--	--

八尋課長
(映像資料課)

三浦課長
(文学・文書課)

齋田館長

中川事業管理部長

坂本課長
(運営課)

岩口課長
(図書サービス課)

係長席	係長席	係長席	係長席
-----	-----	-----	-----

出入口

平成30年度事業計画について

平成26年6月に策定した「福岡市総合図書館新ビジョン」の基本理念である「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館」をめざし、魅力ある図書館づくりを推進する。

1 図書資料部門

(1) 図書資料の収集・整理・保存

総合図書館（本館）と各分館との緊密なネットワークを運営し、図書、逐次刊行物、新聞の収集について、一層の充実に努め、本館での基本資料の一元的保存を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
資料収集の充実	公共図書館としての役割を発揮するため、図書館資料収集方針に基づき資料収集を行う。 また、子どもの読書活動を推進するため、絵本や紙芝居を含めた児童書や子育て支援に関する図書の充実を図る。	随時実施

(2) 貸出・返却サービスの充実

交通不便等の理由により来館困難な利用者へのサービスの向上を図るため、市中心部、交通結節点など市内11カ所に図書返却ポスト等を設置しており、また、福岡県立図書館との相互返却サービスの提供を行うとともに有料宅配サービスを実施している。

主な事業名	内 容	実施時期
貸出・返却拠点等の新設	図書館利用者の利便性の向上を図るため、図書の貸出・返却拠点の新設を推進する。	随時検討

(3) レファレンスサービスの充実

利用者から寄せられる質問・相談に対し、一般参考、人文科学、社会科学、自然科学、国際、国連などの所蔵資料やオンラインデータベース等の電子情報を活用して、レファレンスサービスの充実を図る。

主な事業名	内 容	実施時期
レファレンス協同データベース事業におけるレファレンス事例の提供	国立国会図書館が実施する同事業を通じて、総合図書館におけるレファレンス事例の中から選択したものを一般公開する。 (平成25年5月から実施)	通 年
国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料について、総合図書館が設置する端末から閲覧することができるサービスを提供する。 (平成26年1月から実施)	通 年
電子メールによるレファレンスサービスの提供	図書館サービスの充実と利便性の向上を図るため、電子メールにより、図書・文書・映像資料に関するレファレンスサービスを提供する。 (平成28年8月から実施)	通 年

(4) 情報提供の充実

本市関連部局及び国・県等関係機関と連携を図りながら、図書館資料を活用した情報提供などを行う。

主な事業名	内 容	実施時期
課題解決型支援	ビジネス支援として福岡県中小企業診断士協会と連携した「起業・経営相談会」を継続実施する。 (平成28年4月から実施) また、医療情報の提供を目的に九州がんセンターと協力してシリーズで開催している、がんに関する講演会を継続実施する。 (平成28年10月から実施)	〔起業・経営相談会〕 毎月第2・4日曜日 〔講演会〕 平成30年 第5回 4月22日 第6回 10月(予定)

(5) 読書普及活動

読書活動ボランティア講座や講演会等を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
読書活動 ボランティア講座 ・絵本の読み聞かせコース ・ストーリーテリングコース	地域における子どもの読書活動の支援として、地域で活動する読書ボランティアの育成と資質の向上を目指して実施する。	平成30年5月～ 平成31年2月
おはなし会	乳幼児から小学生を対象として絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本への親しみと読書の楽しさを伝え、子どもが本とつながる機会を提供する。	毎週土、日曜日
赤ちゃん向け おはなし会	ブックスタート事業のフォローアップとして、0～2歳児と保護者を対象にわらべうたや絵本の読み聞かせを行い、絵本に親しみ、お話の楽しさを知り、読書へのきっかけづくりとなるよう機会を提供する。	毎月第2金曜日
布の絵本講習会	手づくり布の絵本の会と共催により、手づくり布の絵本作成の講習を実施する。	平成30年 5月～7月（予定）
夏休み図書館の 達人講座	小学4～6年生を対象に、夏休みの自由研究等にも役立つ、図書館を利用した調べ学習の方法を学ぶことなど、図書館利用に関する基本的知識の習得を図る。	平成30年8月 （予定）
福岡市ブックスタート事業「絵本ふれあいタイム」ボランティア研修	乳幼児の4ヶ月児健診の機会に赤ちゃんに絵本を手渡すブックスタート事業に関し、絵本の読み聞かせの楽しみ方や赤ちゃんとの遊び方等を説明、実演するボランティアの研修を実施するほか、絵本の選定についての助言を行う。	平成30年9月 （予定）
大人向けイベント	成人を対象とした読書会等を実施し、読書普及や図書館活用促進を図る。	各館での実施内容及び時期を検討中
企画展示	各部門においてテーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリストの配布などを行う。 なお、10月は図書館マンスとし、全館統一テーマを定め、各館・各部門において、サブテーマを設定し、図書の展示等を行う。	毎 月

(6) 子どもへの読書普及

子ども読書活動推進計画等に基づき、子どもへの読書普及を推進する。

主な事業名	内 容	実施時期
モデル児童図書目録を改め、モデル児童図書リストを発行	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安となるよう、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与する。平成29年度より発行方法や形態等を見直したモデル児童図書リストを、毎年度発行する。 ※モデル児童図書リストの配付状況 幼児用，小学1・2年生，小学3・4年生，小学5・6年生を平成29年4月発行し，約2,600部を配付した。	毎年4月 発行予定
新一年生等への貸出カード作成案内	平成29年度に実施した，市内全小学校新一年生の保護者及び試験的に実施した小・中学校各1校の全児童・生徒の保護者への貸出カード作成案内による登録実績を踏まえ，事業の継続について検討するとともに，授業の一環として図書館見学に来館する児童・生徒への働きかけについても検討し，登録の促進に努める。	平成30年4月
ヤングアダルト層(12歳～18歳)への広報活動の強化	ヤングアダルトコーナーの設置や推薦図書に関するリストの配布などの事業を継続する。 また，平成29年度より試験的に実施している市立高等学校を対象とした図書資料の調べ学習用に貸出する制度を継続し，ヤングアダルト層への図書館利用促進を図る。	通 年

(7) 地域読書活動への支援

団体貸出サービスの充実を図り、公民館等の図書コーナー等の運営や環境整備への支援を推進する。

主な事業名	内 容	実施時期
団体貸出先の拡大	配本件数の増加に対応できるよう移動図書館車・配本車の更なる効率的な運用に取り組み、未登録の留守家庭子ども会、及び公民館文庫や、入所施設、病院等への団体貸出先の拡大を図る。 (平成27年4月から実施)	通 年
公民館等の読書活動への支援	公民館等で子ども達など地域住民への読書普及活動を行う地域文庫団体を対象とした交流会において、実用的講座を開催するなど、活動への支援を行う。 (平成27年4月から実施)	通 年

(8) 各種図書館間協力ネットワークの構築

福岡都市圏図書館、県内公共図書館、大学図書館、専門図書館との相互協力ネットワークの推進を図る。

主な事業名	内 容	実施時期
福岡都市圏図書館等の広域利用	日常生活圏の広域化に伴い、福岡都市圏の図書館等は、図書の貸出対象の居住者要件を、当該市町村居住者から福岡都市圏全体の居住者に拡大しており、制度を継続する。 (平成13年4月から実施)	通 年
福岡県図書館協会の相互貸借	相互貸借の円滑化により図書館サービスの充実を図るため、福岡県内の公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館の4団体間で実施している相互貸借を継続する。 (平成18年11月から実施)	通 年
大学図書館とのネットワーク	大学図書館の資料を市民が利用できるようにするため、市内8大学と実施している相互貸借を継続する。 (平成13年3月から実施)	通 年
市関連施設の図書室の相互協力	市関連施設の図書室の相互協力をし、利用者サービスの向上を図る。 市議会議員等の調査・研究を支援するため実施している議会図書室への図書資料の貸出を継続する。 (平成27年2月から実施)	通 年 (議会図書室)

(9) 学校図書館支援センター

各小中学校が、学校図書館を効果的に運用できるように、学校図書館関係者を対象とし、「情報」「ひと」「もの」の3点から支援を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
学校図書館支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報・ひと・もの」による支援 情報：ホームページ等による情報提供など ひと：学校図書館運営に関する相談業務、学校訪問による助言など もの：学習支援用図書の貸出、読書活動や調べ学習に関する助言など なお、市内全小中学校の利用登録・更新を学校指導課の協力により実施する。 ・「小学生読書リーダー養成講座」 市内小学5・6年生を対象として講座を実施し、受講した児童を「小学生読書リーダー」に認定することにより、各学校での読書活動推進につなげる。 (平成27年4月から実施) 	通 年

(10) 分館運営

分館では、生活に密着した情報、趣味、娯楽、読み物等の一般図書、児童図書を中心に資料を収集し、館内での閲覧や貸出を行うほか、おはなし会等の読書普及活動を行っている。

また、総合図書館と分館とのコンピューターネットワークにより資料情報を共有するとともに、資料の貸出や返却がどの図書館でもできるように、毎日連絡車を運行し、物流のネットワーク化を図っている。

主な事業名	内 容	実施時期
おはなし会	乳幼児から小学生を対象として絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本への親しみと読書の楽しさを伝え、子どもが本とつながる機会を提供する。	毎週土曜日ほか
企画展示	各分館においてテーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリストの配布などを行う。 なお、10月は図書館マンスとし、全館統一テーマを定め、各館・各部門において、サブテーマを設定し、図書の展示等を行う。	毎 月

2 文書資料部門

(1) 公文書等

① 公文書

完結後30年を経過した永年保存文書及び保存期間が満了した文書で歴史的文化的価値があるものを収集、整理、保存、閲覧に供する。

また、完結後20年を経過した永年保存文書で、保管の委託が適当であるものについては、受託する。

- ア 収 集 福岡市の各公文書規程に基づき行う。
- イ 整理・保存 資料保存のための燻蒸処理を行い、件名整理及び閲覧制限項目のチェック完了後、検索用目録の作成とマイクロフィルム撮影を行う。
- ウ 閲 覧 完結後30年を経過した公文書を、文書資料室において原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。
資料の館外貸出は本市職員に限り許可する。
- エ 展 示 歴史的公文書の展示を行い、市民の公文書への関心を高める。

主な事業名	内 容	実施時期
公文書資料目録の作成	平成28年度までに収集・整理した公文書資料の簿冊及び件名目録を検索用として作成するとともに、PDFファイルにてホームページに掲載する。	平成31年3月
歴史的公文書の展示	市の歴史的公文書の整理保存を行っていることの市民への周知を図るとともに、利用の促進を図るため、展示を行う。	平成30年6月
歴史的公文書のデジタルデータの公開検討	収集・整理・保存した歴史的公文書等について、一部をデジタルデータ化し、ホームページ上で公開（情報提供）するため、対象資料の選定を行うとともに、ホームページの改修について検討する。	通 年

② 行政資料

主に本市各部局が発行する刊行物等を収集、整理・保存し、文書資料室に配架して閲覧に供する。

また、本市各部局で作成したビデオテープやDVDの閲覧提供を行う。

(2) 古文書資料

古代、中世、近世及び近現代の郷土福岡に関する歴史資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 燻蒸処理し、収集資料群毎の詳細調査・整理及び資料の補修等を行い、マイクロフィルム撮影をして、検索性目録を作成する。
- ③ 閲 覧 原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。

主な事業名	内 容	実施時期
古文書学講座	古代・中世・近世・近代の古文書学の基礎を学ぶ講座	平成30年9月 (全4回)
古文書資料目録24の発行	平成29年度までに収集した古文書資料の検索性目録を作成する。	平成31年3月
古文書資料のデジタルデータの公開検討	収集・整理した資料の一部をデジタルデータ化し、ホームページ上で公開(情報提供)するため、ホームページ改修について検討する。	通 年

(3) 郷土資料

近世までは筑前国、近代以降は福岡市を中心とする福岡県内の各分野の資料、及び九州・山口各県の地方史誌等を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 収集資料の分類や装備等(必要に応じて燻蒸処理)を行う。
貴重な資料についてはマイクロフィルム撮影をして、閲覧用の複製本を作成する。
- ③ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。
貴重資料については、マイクロフィルム又は複製本により閲覧に供する。

主な事業名	内 容	実施時期
郷土・特別資料室内展示	郷土福岡に関する展示を実施	通 年

(4) 文学資料

福岡ゆかりの作家等に関する文学資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、実行委員会による文学振興事業等を実施する。

① 資料

- ア 収 集 購入、寄贈等による。
イ 整理・保存 図書等の収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。
ウ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。
貴重資料は、事前申請により職員立会のもと一部公開。

② 福岡市文学館の運営

福岡市総合図書館と福岡市赤煉瓦文化館を活用した「福岡市文学館」において、企画展・文学講座等の事業を実施し、市民の文学に関する生涯学習活動を支援する。

主な事業名	内 容	実施時期
常設展示	福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動を紹介する。 ○総合図書館1階ギャラリー ○赤煉瓦文化館1階展示室 特に企画展では、文学振興事業実行委員会において企画展図録を作成し、販売。	通 年 (企画展期間中を除く)
企画展		平成30年 11月～12月頃 (年1回)
読書講座	九州ゆかりの文学をテキストにし、講師と受講者で作品についての意見交換をする。	平成30年11月～ 平成31年3月頃 (全3回)
赤煉瓦夜話	福岡ゆかりの文学者等による卓話会、講演等	5, 7, 9, 11, 2月 第3木曜日
文学館倶楽部	福岡市文学館の館報として発行（無料配付）	平成30年10月 平成31年3月 (年2回)

(5) レファレンス業務

郷土・特別資料室及び文書資料室（総合図書館2階）において、各資料に関するレファレンスを行う。

(6) 委員会等

① 福岡市総合図書館文書資料収集審査委員会

所管する文書資料収集の適正化を図るため、8名の委員により本年度1回開催予定。

② 福岡市文学館資料委員会

福岡市文学館資料の充実と有効活用を図るため、8名の委員により本年度2回開催予定。

③ 福岡市文学振興事業実行委員会

文学振興事業の企画と円滑な実施運営を図るため、7名の委員により本年度3回開催予定。

3 映像資料部門

(1) 映像資料の収集・保存

主な事業名	内 容	実施時期
映像資料収集事業	(1) アジアフォーカス福岡国際映画祭参加作品 (2) 福岡に関する映画作品 (3) ビデオ, DVD (4) CD	通 年

(2) 映像資料の調査・研究

東京国立近代美術館フィルムセンター（平成30年4月より「国立美術館国立映画アーカイブ」）をはじめとする国内外の機関・施設と連携し、映画フィルムの収集、保存等について調査・研究を行う。

(3) 映像資料の公開及び展示等

- ① 映像ホール・シネラ(定員246席)で上映する。
- ② ミニシアター(定員50席)で上映する。
- ③ 映像資料の展示(ポスター展の開催など)を行う。

(4) ビデオライブラリーの運営等

映像資料(ビデオテープ・DVD)と音声資料(CD・カセットブック)の館外貸出を行う。

(5) 映像ホール・シネラの運営等

主に総合図書館と映像ホール・シネラ実行委員会等の共催で実施している。

図書館が収蔵している映画の上映や特別企画展・講演会等を実施することにより、市民の映画やアジアに関する理解が深まることを支援する。

主な事業名	内 容	実施時期	
通常上映	図書館が収蔵しているアジア映画等を上映する。	通 年	
特別企画事業	アジア映画祭事業	近年話題のアジア映画を上映する。 未 定 (年1回)	
	映像創造事業	新しい才能の発見と育成がテーマの映画祭「ぴあフィルムフェスティバル」の入選作を上映する。	平成30年4月頃
		芸術性・創造性の高い映像作品を集めて上映する「シネラ映像祭」の開催。	平成30年6月頃

特別企画事業	シネマテーク事業	日頃福岡で上映されない映画を積極的に取り上げ、俳優・監督などをテーマに特集を組み、多様な映画を紹介する。 5月は、昨年亡くなった日本を代表する監督・鈴木清順の特集。	通 年
	講演会等	上映する映画に関する講演会等を開催する。	年 数 回

※6月以降の上映事業については、4月開催のシネラ実行委員会で決定。

(6) 委員会等

① 福岡市総合図書館映像資料収集委員会

映像資料の収集・保存に関し、収集に必要な事項を審議するため、8名の委員により本年度1回開催予定。

② 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会

福岡市総合図書館映像ホール・シネラでの上映会等を開催し、その運営を円滑に行うため、10名の委員により本年度1回開催予定。また上映作品の詳細や広報活動を検討する8名の委員によるプログラム部会を年2回開催。

(7) 図書館外施設でのアジア映画上映事業

主な事業名	内 容	実施時期
こんにちは！シネラです	総合図書館が収蔵しているアジア映画の作品を、図書館以外の市の施設で上映し、フィルムの有効活用を図る。	平成30年 12月9日予定

4 図書館全体事業

(1) 新ビジョンの推進

項目	内 容	実施時期
新ビジョンの推進	①新ビジョン事業計画 (H26～H30) の推進に向け、平成 29 年度の取組についての点検評価を行う。 ②新ビジョン事業計画 (H31～H35) の策定を行う。	平成30年8月頃に評価予定

(2) 分館整備事業

項目	内 容	実施時期
新たな分館の整備 (早良区)	早良地域交流センター(仮称)の整備にあわせ、図書館分館整備を推進していく。 (平成33年11月頃供用開始予定)	PFI 事業者(施設の設計建設)を平成30年度中に公募・選定

(3) 指定管理者の管理運営業務に係るモニタリング

項目	内 容	実施時期
年次評価 (総合図書館)	総合図書館(建物管理等)における指定管理者の平成29年度管理運営業務について評価を行う。	平成30年8月頃に評価予定
年次評価 (東図書館)	東図書館(選書を除く)における指定管理者の平成29年度管理運営業務について評価を行う。	平成30年8月頃に評価予定

(4) 図書館業務システム

項目	内 容	実施時期
図書館業務システムの更新	機能の改善や拡張、処理能力向上に向けて、図書館業務システムの更新を行う。	平成31年春以降更新予定

(5) 施設設備の更新

項目	内 容	実施時期
総合図書館の施設設備等更新	総合図書館施設について、電気設備やパッケージエアコン等の更新、屋上防水工事等を行う。	平成30年度中(時期未定)

(6) やすらぎと交流の場づくり

項目	内 容	実施時期
指定管理者企画事業 (総合図書館)	エントランスホールや正面玄関前広場等を活用し、節句祭、納涼祭、冬フェスタ等の季節イベントや、講座・教室等を実施する。	計画的に実施

(7) 見学・視察の受け入れ

項目	内 容	実施時期
見学・視察の受入	小学校、中学校、高校、各種学校の他、自治体、図書館関連機関等からの要請に対し、受入を行う。	随時対応
バックヤードツアー	一般および親子を対象とした図書館の裏側を紹介するツアーを実施する。各回 15 名×10 回	平成30年11月～ 平成31年3月

(8) 市民との共働

項目	内 容	実施時期
図書館ボランティア	市民活動の場を提供するためボランティアの募集・受入を行う。	平成30年4月に 説明会を実施
インターンシップ	大学等からの要請に対し、インターンシップの受入を行う。	夏～秋

(9) 職員研修

項目	内 容	実施時期
基礎研修	図書館各部門に共通する基本的な知識、ビジネスマナーや接遇、コンプライアンスなどの基礎知識についての研修を実施する。	年6回程度
専門研修	図書館職員として必要な専門知識や技術向上を目指した研修を実施する。	各部門で実施
図書館地区別研修 (九州沖縄地区)	文部科学省受託事業として、九州沖縄地区の図書館司書を対象に、研修を実施する。(平成30年度は福岡市が担当)	平成30年12月～ 平成31年1月に 3～4日間

(10) 危機管理対策

項目	内 容	実施時期
防災基礎研修	防災対策及び消防設備等の基礎知識についての研修を実施する。	平成30年6月頃 (休館日実施)
災害時避難訓練	火事・地震を想定した避難誘導訓練と消火器及び屋内消火栓の現地訓練を行う。 また、消防局によるAED操作訓練を行う。	平成30年10月頃 (休館日実施)

(11) 財源確保に係る事業

項目	内 容	実施時期
駐車場の有料化	休館日や閉館時間帯に駐車場を有料開放するなどして、財源確保を図る。	通 年
ふくおか応援寄付	「ふくおか応援寄付」制度による寄付金により、財源確保を図る。	通 年

5 広報活動

福岡市総合図書館を広く市民に利用してもらうため、各種媒体による広報を行う。

媒体名	内 容	発行回	配布先／発行数
図書館要覧	他図書館、行政機関への当館の事業報告を目的とし、図書館各部門や分館の利用状況、事業実績、組織・予算などを掲載。	年1回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／400部
福岡市総合図書館ホームページ	情報提供を目的とし、利用案内、各種お知らせ、映像資料案内、図書館資料検索などの項目を設けている。	随時更新	
メールマガジン	イベント情報や各部門からのお知らせなどについてメールマガジンを配信。	月1回	メールマガジン登録者
各種ソーシャルメディア (Twitter や Facebook 等)	Twitter や Facebook 等のソーシャルメディアを活用し、新着情報やイベント情報などを配信。	随時配信	SNS登録者
こどもとしょかんニュース	こども図書館の利用拡大、読書普及を目的とし、おはなし会やテーマ別本展示のお知らせ、新刊本紹介を掲載。	年6回	福岡市関係施設・機関、市内の保育所、幼稚園、小学校等／1,400部
ヤングアダルトブックリスト	中学生・高校生を対象として、読書普及及び図書館の利用拡大を目的に、お薦めの本を紹介する。	不定期	総合図書館等／600部
レファレンスだより	レファレンスサービスをアピールすることを目的に、レファレンス事例を主題別、部門毎に紹介している。また、夏休みは小中高生を対象にした特集号を別途発行している。	年12回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／300部
クンドルニュース	九州国連寄託図書館における国連資料の利用者拡大を目的に、国連資料などを紹介している。	年6回	福岡市の施設・機関、福岡県内公共図書館等／700部
シネラニュース	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。	年11回	福岡市の施設・機関、マスコミ、定期購読者等／8,000部
ホームページ「うえぶシネラ」	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。また、メールマガジンも配信。	月1回	
市政だより	図書館事業の市民への告知を目的とし、シネラ上映案内、おはなし会・講演会などを掲載。	月2回	福岡市内全世帯

6 研究活動

図書館において調査・研究を行い、その成果を報告するため、研究紀要を発行する。

媒体名	内 容	発行回	配布先／発行数
研究紀要	収蔵資料に関する学術的な調査・研究の成果を報告することを目的に、図書館職員による研究論文、資料紹介、展示報告等を掲載する。	年1回	各県の主な公共図書館、文学館、文書館、歴史資料館等／500部



1 平成30年度予算

(単位:千円)

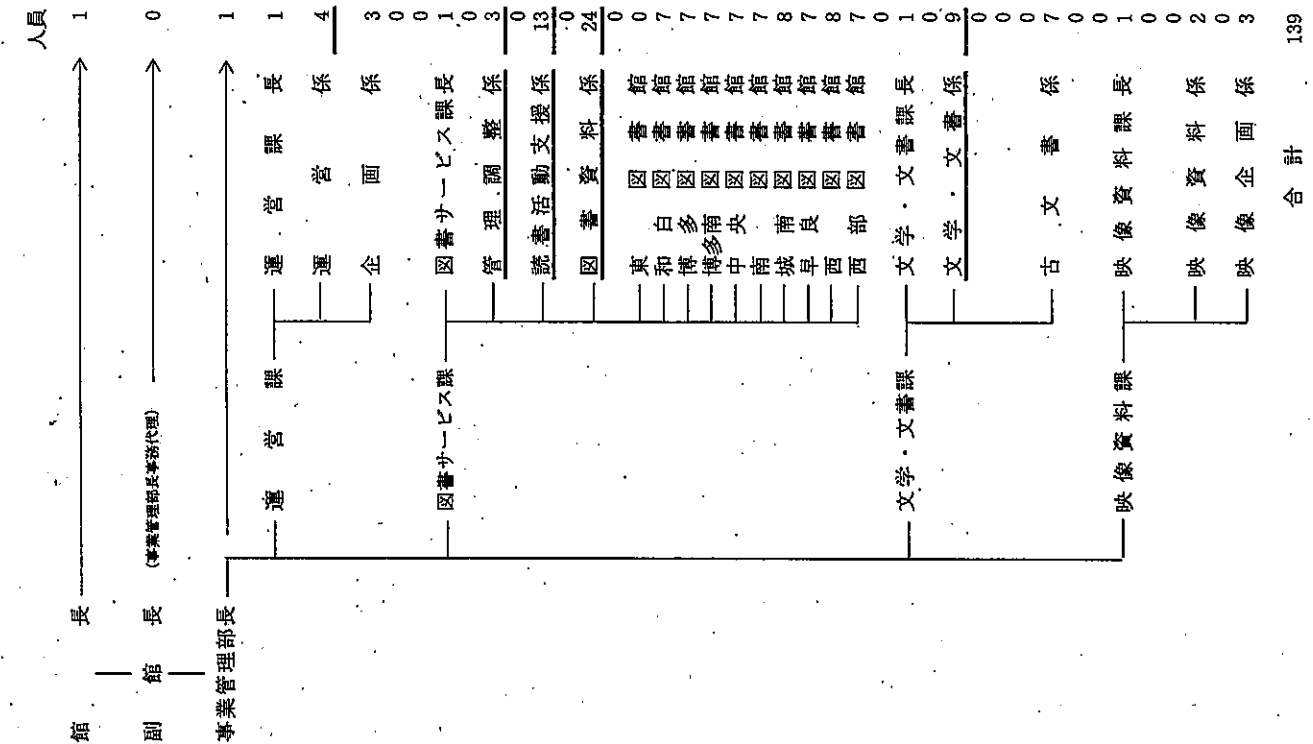
歳出	歳入内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
1,632,754	664	186,000	69,117	1,376,973

歳出内訳

事 項	平成30年度	平成29年度	増減	参考 平成28年度(決算)
1 給与費等	289,673	302,621	△ 12,948	294,387
2 管理運営費	715,278	792,092	△ 76,814	780,605
一般管理費	101,449	163,687	△ 62,238	160,562
施設管理費	251,620	257,426	△ 5,806	259,645
分館運営費	346,433	351,880	△ 5,447	343,528
映像機器の更新	2,880	3,600	△ 720	3,598
学校図書館支援センター運営費	12,896	15,499	△ 2,603	13,272
3 主催事業費	2,633	2,388	245	3,615
講座等経費	817	948	△ 131	2,305
映像企画事業等経費	864	1,080	△ 216	947
図書館外施設でのアジア映画上映	288	360	△ 72	363
図書館地区別研修	664	0	664	0
4 資料収集経費	163,952	140,542	23,410	151,713
図書購入費	99,661	71,756	27,905	77,461
映像資料購入費	1,600	2,000	△ 400	2,046
図書整理費	22,445	25,403	△ 2,958	29,300
文書資料整理等経費	29,482	30,444	△ 962	31,309
映像資料収集保存等経費	10,764	10,939	△ 175	11,597
5 図書利用サービス費	163,359	166,974	△ 3,615	164,734
一般利用サービス費	160,579	164,155	△ 3,576	162,474
団体貸出運営費	2,654	2,662	△ 8	2,259
こども図書館運営費	126	157	△ 31	1
6 国連寄託図書館経費	4,507	4,447	60	4,274
国連寄託図書館運営費	4,507	4,447	60	4,274
7 文学館費	12,565	13,109	△ 544	12,628
文学館管理運営費	10,270	10,559	△ 289	9,991
文学館事業費	2,295	2,550	△ 255	2,637
8 施設整備費	280,787	33,210	247,577	31,834
総合図書館施設整備費	280,787	33,210	247,577	17,799
図書館分館整備事業	0	0	0	14,035
合 計	1,632,754	1,455,383	177,371	1,443,790

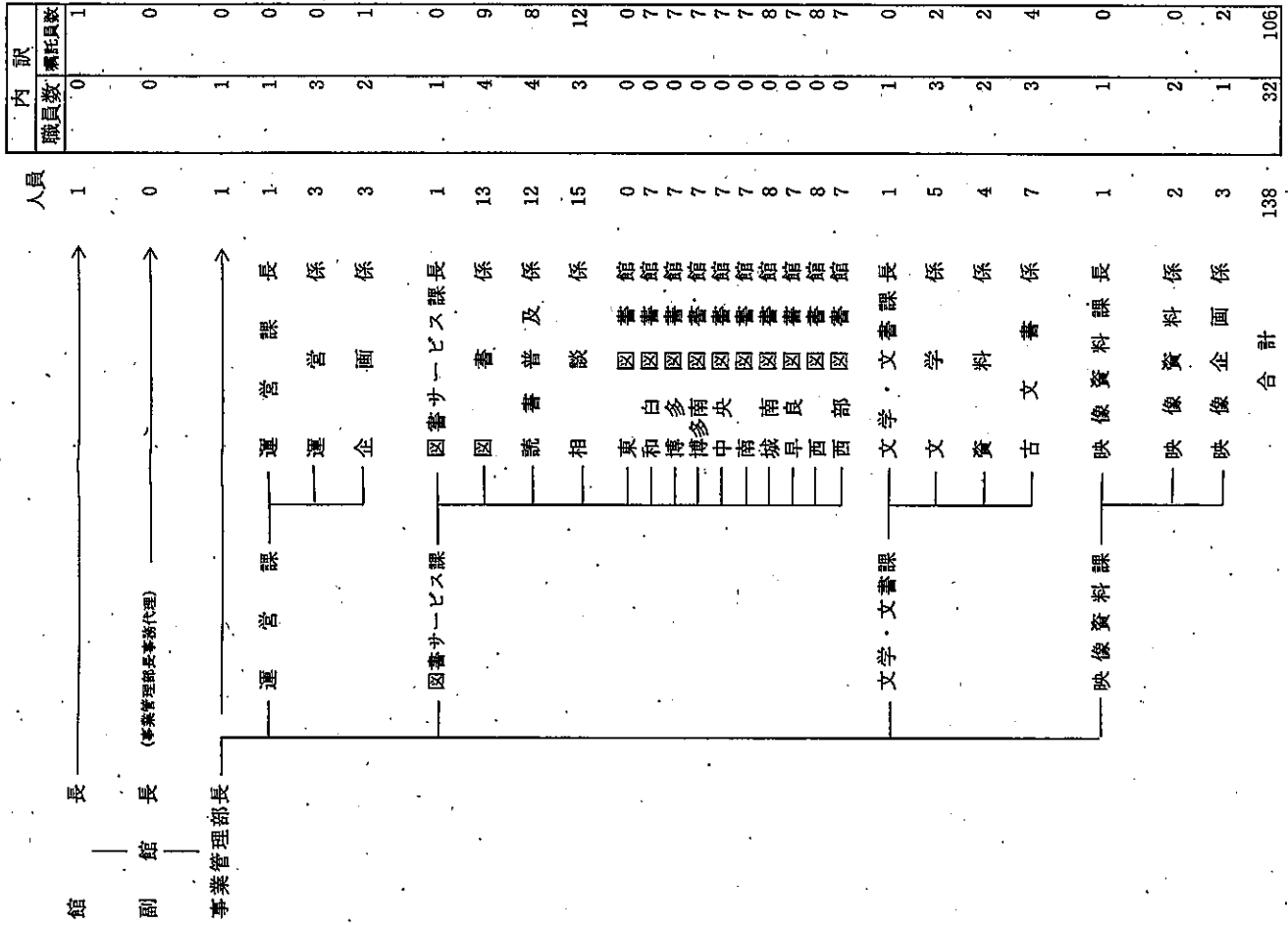
2 機構

平成30年度



※アラインメントは平成29年度からの変更箇所

平成29年度



早良地域交流センター（仮称）整備事業の実施方針等について

市民局

早良地域交流センター（仮称）整備事業（以下「本事業」という。）について、PFI方式による事業実施にあたり、実施方針（案）及び要求水準書（案）を取りまとめたので報告するもの。
 なお、実施方針（案）及び要求水準書（案）については、今後、事業者に対して公表し、事業者からの有益な意見等を踏まえ、内容の見直し及び変更を行うことがある。

実施方針	PFI法第5条に基づき、公共施設等の管理者が特定の事業をPFIで実施するにあたり、その方針を定めるもの
要求水準書	福岡市が本事業において、事業者を求める業務の内容等について示すもの

※PFI法：「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）」

1 実施方針（案）の概要

(1) 事業目的

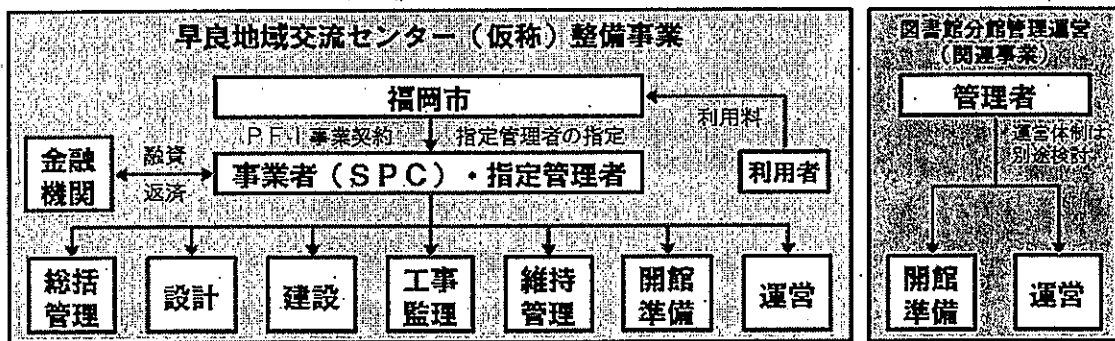
早良区中南部において、地域住民の交流を促進する場を提供し、地域コミュニティの活性化、文化・スポーツの振興、地域福祉の向上に寄与するため、区レベルの行政サービスを補完する施設である「早良地域交流センター（仮称）」（以下「本施設」という。）を整備し管理運営を行う。

(2) 事業内容

① 事業対象

本事業の業務範囲は、総括管理業務、設計業務、建設業務、工事監理業務、維持管理業務、開館準備業務、運營業務とする。

ただし、本施設に合築する「図書館分館」の開館準備業務及び運營業務に関しては、平成28年6月から指定管理者制度を導入している東図書館の成果や課題等の検証を進め、引き続き民間事業者の活用について検討していく必要があるため、本事業に包括しないものとする。



※SPC：本事業を実施するために設立する特別目的会社

② 施設概要

- 事業用地：福岡市早良区四箇田団地内
- 敷地面積：約10,600㎡
- 想定床面積：約5,200㎡

③ 事業方式

事業者が施設の設計及び建設を行い、福岡市に施設の所有権を移転した後、維持管理・運營業務を行うBTO（Build-Transfer-Operate）方式により実施する。

④ 事業期間・事業スケジュール（予定）

- ◇事業契約の締結 平成31年3月
- ◇事業期間 事業契約締結日から平成49年3月31日まで
 - ・設計・建設期間 事業契約締結日から施設引渡し日（平成33年7月）まで
 - ・開館準備期間 事業契約締結日から開館日（平成33年11月）まで
 - ・維持管理業務期間 施設引渡し日から事業期間終了日（平成49年3月31日）まで
 - ・運營業務期間 開館日から事業期間終了日（平成49年3月31日）まで

(3) 事業者の募集及び選定等

① 事業選定方法等

総合評価一般競争入札方式

※入札価格に加え、施設の性能、業務遂行能力、事業計画の妥当性等を総合的に評価する。

※WTO政府調達協定の対象である。

② 入札参加資格

入札参加者は、本事業を実施するために必要な能力を備えた法人で構成されるグループとする。

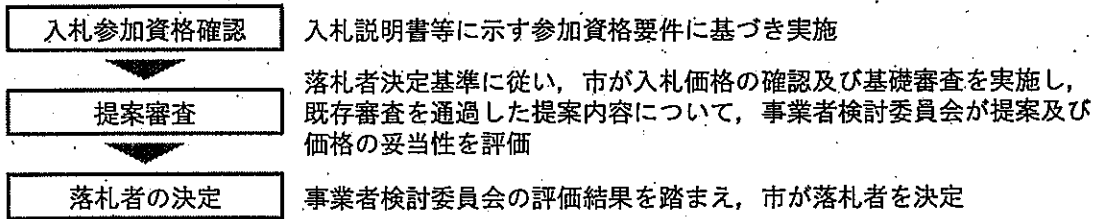
項目	入札参加資格要件
設計	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「福岡市・水道局・交通局競争入札有資格者名簿」又は「福岡市・水道局・交通局特定調達契約等に係る競争入札有資格者名簿」に種別が委託（建築設計若しくは、設備設計）で記載されている者 ◇ 一級建築士事務所の登録を受けた者 ◆ 平成18年4月1日以降に延床面積2,000㎡以上の新築工事（主たる用途が劇場、公会堂、集会場、図書館、その他市が認める類似の施設）の元請の実施設計の実績を有する者
建設	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「福岡市・水道局・交通局競争入札有資格者名簿」又は「福岡市・水道局・交通局特定調達契約等に係る競争入札有資格者名簿」に種別が工事で記載されている者 ◇ 建設工事に係る特定建設業の許可を受けた者 ◇ 建設工事の種類に応じて経営事項審査の総合評定値が以下のいずれかを満たす者・ 建築一式工事900点以上・電気工事860点以上・管工事820点以上・土木一式工事900点以上 ◆ 建築一式工事の経営事項審査総合評定値が1,100点以上 ◆ 平成18年4月1日以降に延床面積2,000㎡以上の新築工事（主たる用途が劇場、公会堂、集会場、図書館、その他市が認める類似の施設）の元請の施工実績を有する者
工事 監理	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「福岡市・水道局・交通局競争入札有資格者名簿」又は「福岡市・水道局・交通局特定調達契約等に係る競争入札有資格者名簿」に登録業種が委託（建築設計若しくは、設備設計）で記載されている者 ◇ 一級建築士事務所の登録を受けた者 ◆ 平成18年4月1日以降に延床面積2,000㎡以上の新築工事（主たる用途が劇場、公会堂、集会場、図書館、その他市が認める類似の施設）の元請の工事監理の実績を有する者

※ 総括管理、維持管理、開館準備、運營業務については、参加資格要件を特に定めない。

※ 各業務を複数企業で実施する場合、実績要件については、1者以上が満たせばよい。

※ 複数の参加資格を有する者が複数業務を実施することは差支えないが、建設を行う者が工事監理を実施することは認めない。

③ 事業者選定の手順



④ 早良地域交流センター（仮称）整備事業に係る事業者検討委員会（平成29年12月5日設置）

区分	役職	氏名	専門分野	所属等
学識 経験者	委員長	森田 昌嗣	公共デザイン	九州大学 芸術工学研究院 教授
	副委員長	四元 誠一郎	公共施設管理	公益財団法人 アクロス福岡 管理部長
	委員	小林 篤史	金融・財務	有限責任 あずさ監査法人 福岡事務所 公認会計士
	委員	志波 文彦	建築	九州大学 人間環境学研究院 助教
行政	委員	百武 隆典		福岡市早良区 総務部長

(順不同・敬称略)

(1) 基本方針

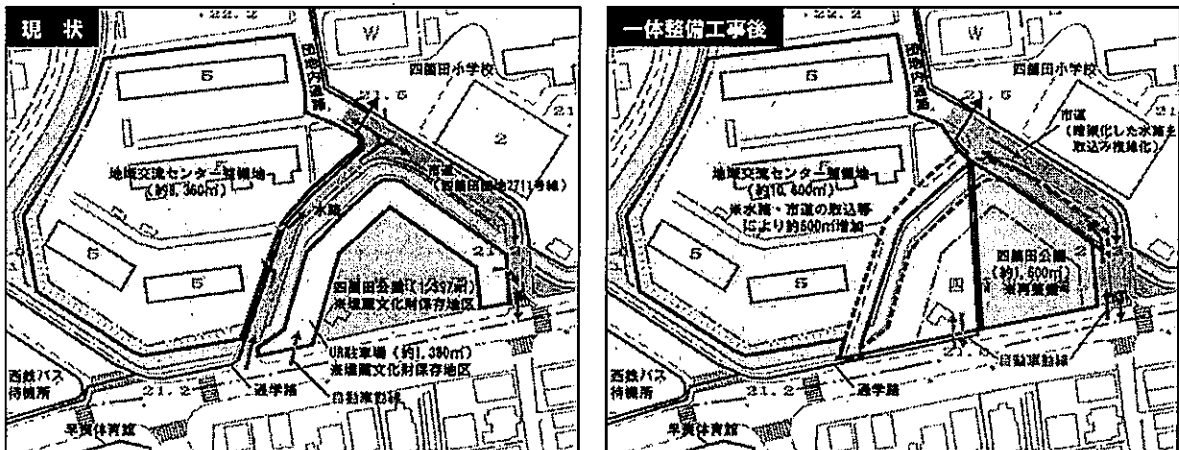
- ① 地域の文化活動の拠点となる施設整備・運営の実現
- ② 民間活力の導入による質の高い利用者サービスの提供
- ③ 地域住民にとって、親しみのある憩いの場の提供
- ④ 公園と一体的な空間形成による施設及びエリアとしての魅力の向上
- ⑤ 周辺施設との連携によるエリアとしての利便性の向上

(2) 業務範囲と概要

項目	概要
総括管理	○総括マネジメント業務 ○総務・経理業務 ○事業評価業務 等
設計	○事前調査業務 ○関係機関調整業務 ○基本・実施設計業務 ○許認可手続業務 等
建設	○許認可申請業務 ○建築工事業務 ○設備工事業務 ○外構工事業務 ○什器・備品調達設置業務 ○周辺家屋影響・電波障害調査対応業務 等
工事監理	○工事監理業務
維持管理	○保守点検・維持修繕業務 ○衛生管理業務 ○植栽維持管理業務 ○警備業務 等
開館準備	○事前受付業務 ○広報業務 ○運営準備業務 ○オープニングイベント業務 等
運営	○受付案内業務 ○舞台設備等操作指導業務 ○使用料徴収等事務 ○自由提案事業実施 等

(3) 敷地及び計画条件

市が本事業工事着工前までに実施する、水路の暗渠化、市道の改良等の一体整備工事完了後の敷地を前提に、市と協議しながら、隣接する四箇田公園との一体感のある施設計画を行う。



(4) 施設運営における基本条件

- ① 開館日及び開館時間
既存の地域交流センターの開館日・開館時間を基本条件として、事業者提案により延長可能とする。
- ② 利用料金
事業者は、指定管理者として、市が条例で定める施設及び設備の使用料の収納代行業務を行う。
- ③ 事業者による自由提案事業
事業者から提案があり、市が本施設に資すると認めた場合は、イベントや講座などの事業のほか、本施設の余剰容積を利用した利便施設を整備し運営することを可能とする。

(5) 主な要求水準

- ① 施設配置・動線計画
四箇田公園と一体感のある施設配置や駐車場の確保、多方面からの歩行者アクセスと歩車分離
- ② ユニバーサルデザインへの配慮
バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した施設整備やサインの表示
- ③ 安全性・耐久性の確保
公共施設として必要な耐震性能や耐久性の確保とともに、防災用倉庫や非常用電源等を設置
- ④ 質の高いサービス水準の確保
維持管理及び運営における、安定的で質の高いサービスの確保

⑤ 諸室の規模と主な要求水準

機能		規模	主な要求水準
文化・交流部門	多目的ホール	1,020㎡程度	・客席数：300席（電動式可動席・スタッキングチェア） ・舞台形状：プロセニウム形式，幅14m，奥行き7m程度 ・舞台設備：緞帳，吊物，照明，音響設備外 ・付属施設：楽屋，大道具倉庫，ミキサー室，ホワイエ
	練習室	300㎡程度	・大・小各1室以上の防音室，器具庫，男・女更衣室
	会議室・和室 給湯室	380㎡以内	・100人以上で利用可能な会議室（2～3分割可），和室，給湯室
	市民ロビー	500㎡以内	・喫茶コーナー，ギャラリー，打合せや学習スペース
	チャイルドルーム	150㎡以内	・1室（2分割可），赤ちゃんの駅機能，ベビーカー置き場 等
図書館部門 （図書館分館）		620㎡以上	・開館当初蔵書数約6万冊（開架予定4万5千冊）， ・一般図書，新聞雑誌，郷土資料等の一般開架エリア， 児童開架エリア，貸出カウンター，事務室
管理部門	事務室	150㎡以内	・窓口カウンター，施設の中央管理，従業員の執務・休憩場所
	その他共用部分	2,080㎡以内	・トイレ，倉庫（防災用倉庫200㎡含む），機械室，昇降機 等
延床面積		5,200㎡程度	

⑥ 外構の規模と主な要求水準

機能		規模	主な要求水準
外部空間	交流プラザ	200㎡以内	・四箇田公園との一体的な利用が可能な配置
	駐車場	7,200㎡程度	・240台以上を確保
	駐輪場	120㎡程度	・80台程度を確保（原動機付き自転車及び自動二輪を含む）
	その他	330㎡程度	・植栽，タクシー乗り場・待機場，排水設備，屋外照明 等
整備面積		7,850㎡程度	

3

今後のスケジュール（予定）

- 平成29年 12月 実施方針・要求水準書（案）の公表
- 平成30年 2月 特定事業の選定（議会報告）
- 平成30年 4月 入札公告
- 平成30年8～9月 入札書類（提案書）の受付
- 平成30年10～11月 落札者の決定及び公表
- 平成31年 3月 事業契約の締結（議決）
- 平成33年 7月 施設引渡し
- 平成33年 11月 開館

平成29年度 市政アンケート調査 第3回結果報告(概要版)

1. 調査の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1)目的 | ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。 |
| (2)調査対象者 | 福岡市内に居住する満18歳以上の男女 |
| (3)調査期間 | 平成29年7月25日から8月8日まで |
| (4)調査対象者数 | 626人 |
| (5)回答者数 | 562人 |
| (6)有効回答率 | 89.8% |
| (7)選考方法 | 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼 |
| (8)調査方法 | 郵送、または電子メール |
| (9)調査主体 | 福岡市 市長室 広聴課 |

2. 調査テーマ

- ①「図書館の利用」について
- ②「モラル・マナー」について
- ③「住宅の省エネルギー化」について
- ④「救命講習」について
- ⑤「屋外広告物」について

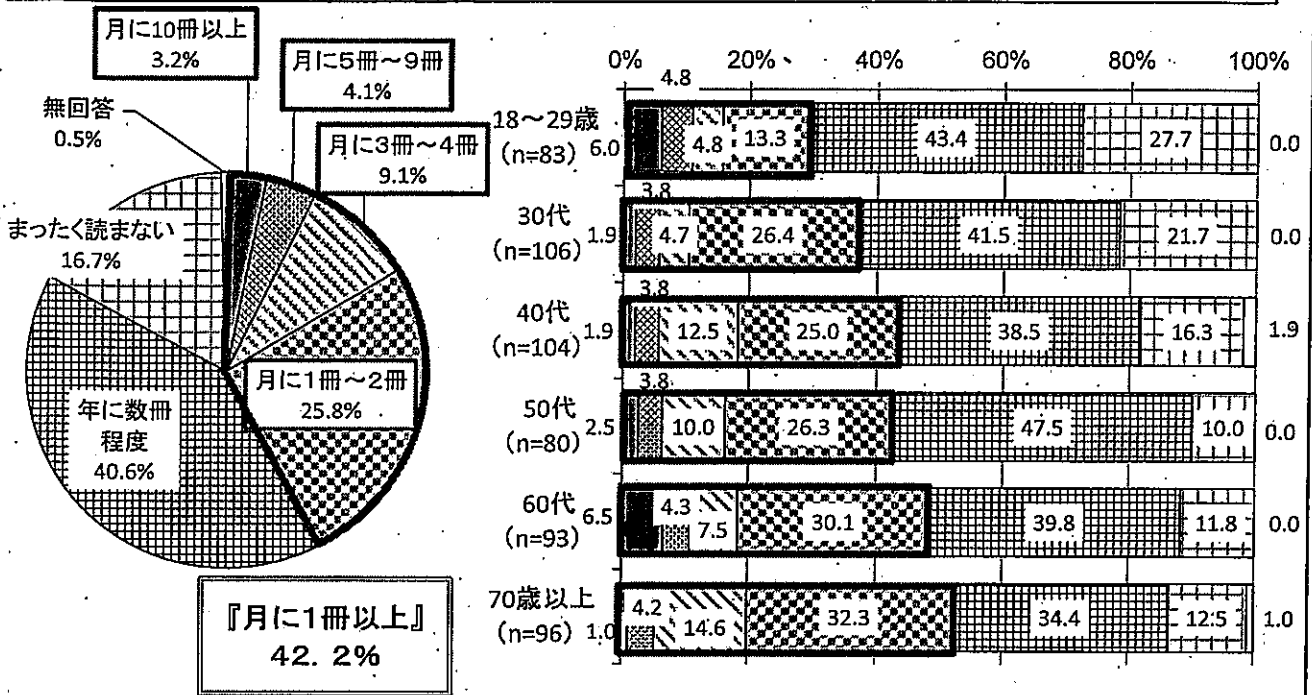


※『』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの例：『関心がある』=「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」

①「図書館の利用」について(N=562)

《1か月の平均読書量(雑誌以外)》

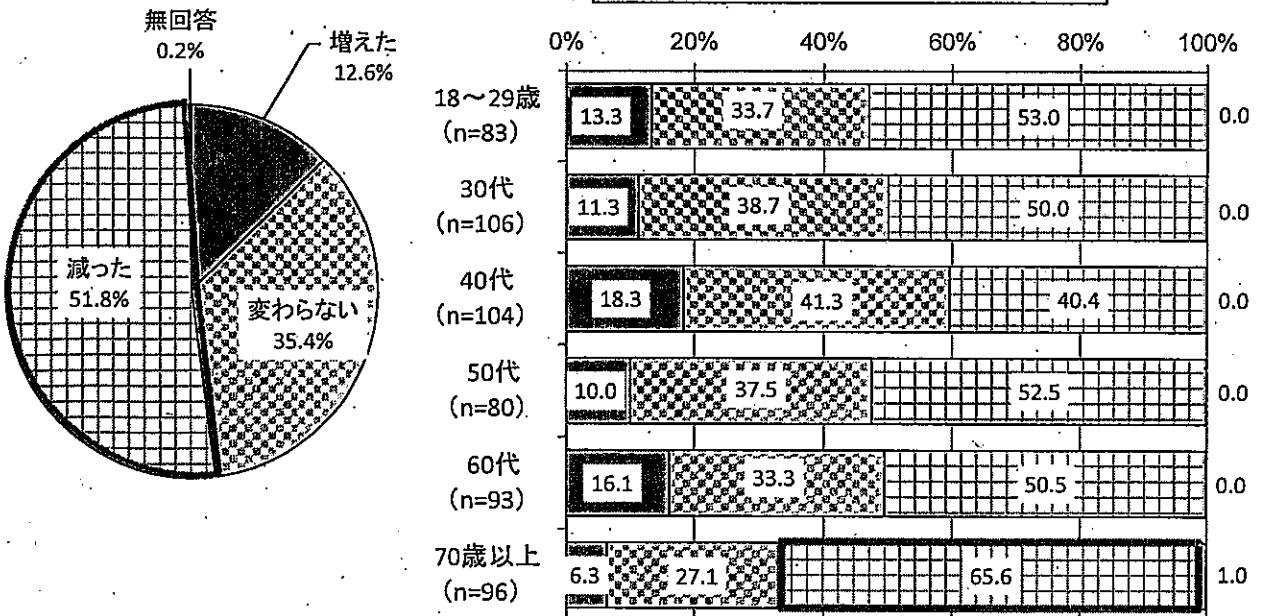
■月に10冊以上 ■月に5冊~9冊 ■月に3冊~4冊 ■月に1冊~2冊 ■年に数冊程度 ■まったく読まない □無回答



全体では『月に1冊以上』が約4割を占めています。年代別にみると、年代が上がるにつれて『月に1冊以上』読んでいる人の割合が増加する傾向にあります。

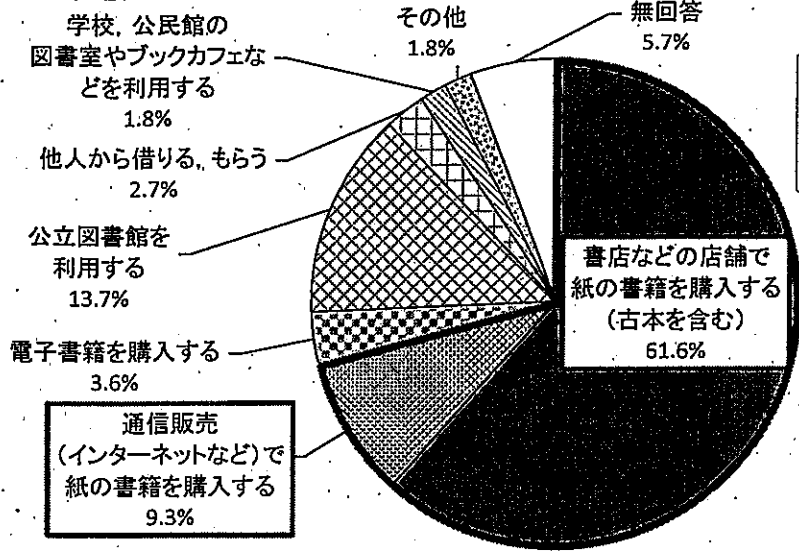
《5~6年前と比較した1日の読書時間(雑誌以外)》

■増えた ■変わらない ■減った □無回答



全体では読書時間が「減った」がおおよそ5割になっています。年代別にみると70歳以上の「減った」が他の年代に比べて高くなっています。

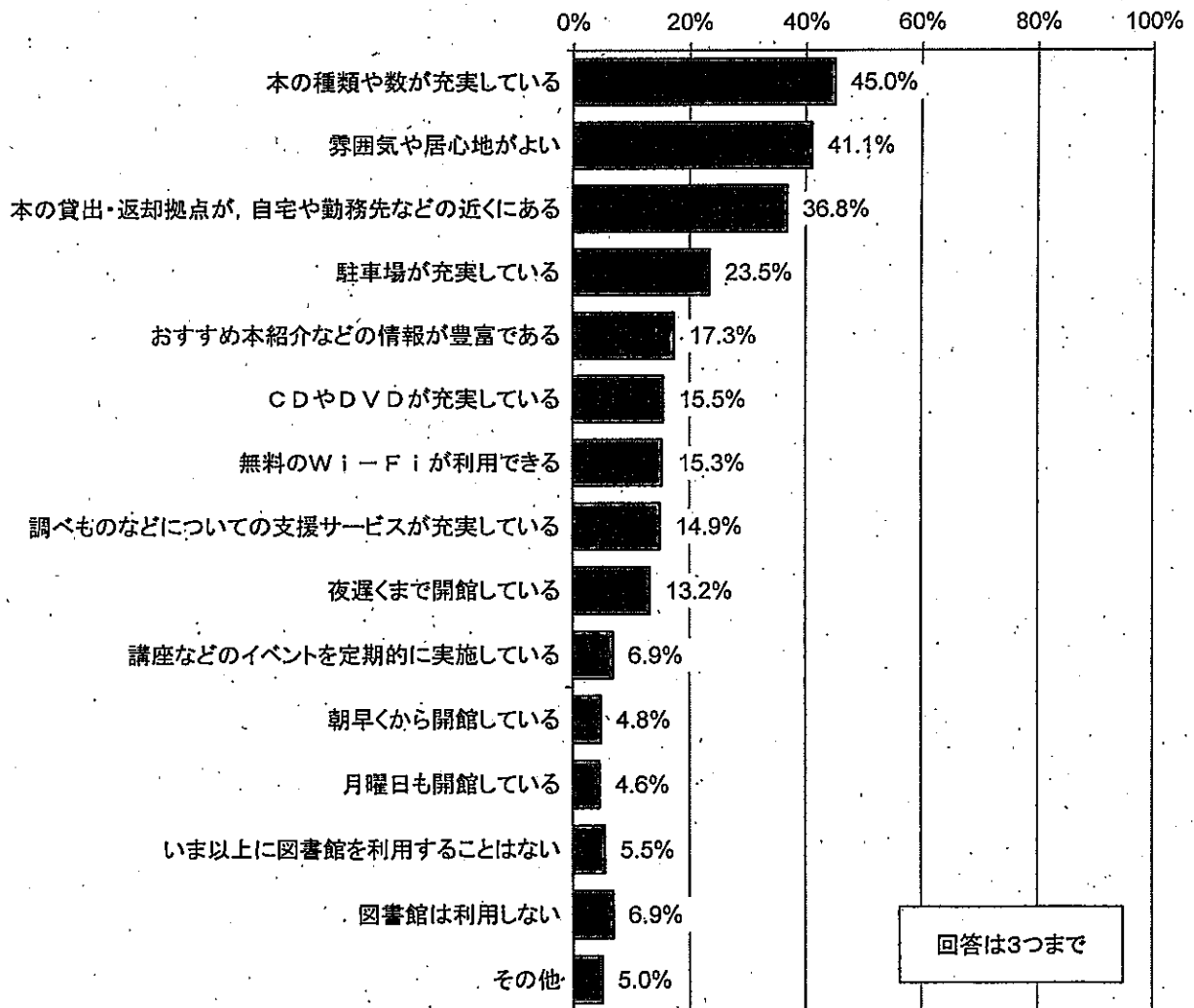
《本を読みたいときは主にどうしているか》



『紙の書籍を購入する』
70.9%

「書店などの店舗で紙の書籍を購入する」が約6割を占めています。
また「通信販売で紙の書籍を購入する」と合わせると7割を超えています。

《福岡市の図書館をいま以上に利用するための条件》



回答は3つまで

「本の種類や数が充実している」が45.0%と最も高く、次いで「雰囲気や居心地がよい」(41.1%)、「本の貸出・返却拠点が、自宅や勤務先などの近くにある」(36.8%)となっています。